

令和4年度 第3学期始業式 校長講話

新年明けましておめでとうございます。生徒の皆さんの姿を見ながら話をしたいところですが、新型コロナウイルスの感染拡大による感染リスクを考慮しました。日本は感染拡大の第8波にありますが、年末の宮崎県知事の記者会見で「今回の感染拡大の一次感染は10歳未満や10代の若者である」という説明がありました。学校等で感染した小中高生が自宅にウイルスを持ち帰って家族に感染させ、さらに家族の務める職場で感染を広げた結果が高齢者施設や医療機関でのクラスター発生につながっているとのことでした。

また、先週5日には「年末年始の期間中は学校が冬休みのため、10代や10歳未満の感染者数は減少傾向にあったが、今後再び上昇することが見込まれる」という宮崎県感染症対策課の説明があり、「学校で行われる授業や部活動が感染拡大の原因」という考え方は年が明けても変わっていません。これは「宮崎県は人口10万人あたりの新規感染者数が全国ワースト1位という、全国で最も感染が厳しい状況にあること」、「入院患者数の増加により救急医療体制が逼迫しているとともに、死者数が増加している」という背景があり、「助かるはずの命を助けることができない」という医療関係者の焦りがあります。これからインフルエンザとの同時流行が心配されていますので、マスク着用と手洗いや手指消毒に各自で取り組んでください。朝、体調に違和感がある場合は、登校せず、速やかに医療機関へかかるようお願いいたします。

ところで、2学期の終業式の時に、「孟子の言葉『振徳』の名に恥じない学校づくりは、生徒の皆さん一人一人の行動にかかっています」という話をしました。その終業式の午後のことですが、飢肥小学校の校長先生から「小学生が下校の時にころんで泣いていたところを、通りかかった日南振徳高校の生徒が対応してくれて本当に助かりました」というお礼の電話を頂きました。「振徳」とは「恵み施すこと」という意味ですが、今回のこの行動は「振徳」を具体的に示したことになります。過去にも日南市内の方からお礼の電話を頂いたことがあります。困っている人に手を差し伸べることは勇気のいることです。勇気を出して自分を犠牲にして他人のために行動する訳ですから、当然、自信が付く等の強い精神力が培われていきます。逆に、法令や規則に違反したり、自分のことだけを優先させ、他人に迷惑をかけるような言動が当たり前になると、自信がなくなり、いつも誰かを攻撃したり、逆に怯えたりしなければなりません。限られた時間を良い行いに使うことのメリットはたくさんありますので、日頃の自分の行動について改めて考えてみてください。

話は変わりますが、今年5月にG7先進主要国サミットが広島市で開催されます。

フランス、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、イタリア、カナダ、日本の7カ国の首相や大統領等の首脳と欧州連合（EU）から欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加する会合が予定されています。また、首脳会合に合わせて国内で14の関係閣僚会合が予定されており、そのうちの農業大臣会合が宮崎市で4月に開催されます。日本は少子化が深刻になっていますが、世界の人口は増え続けており、食料については10人に1人が常に栄養不足の状態にあります。そこで、先進国の農業大臣が宮崎市で会合を行う機会に、本県の高校生が「未来の食や農業のあり方」について提言を行うことになりました。そのメンバーの一人に地域農業科2年の●●さんが選ばれています。これから大急ぎで準備を行うようですが、日本の高校生代表の1人として頑張りたいと思っています。

また、宮崎県出身の国内外で活躍されている方々が、宮崎県人会を組織されています。世界14カ国に19の県人会、国内12都道府県に15県人会があり、宮崎県の置県140年を記念して、令和5年10月に宮崎県人会世界大会を開催する予定になっています。そのロゴマークの奨励賞を3年商業科の●●さんが受賞されたので2学期の終業式で表彰伝達を行ったところです。このようなコンクールやイベント等への高校生の参加や協力は、主催する方々から「地域に活力を与えてくれる」ということで大変喜ばれます。ボランティア活動の他、イベントやコンテスト等に地元高校生が参加することは、直接的にまた間接的に地域貢献の役割を担っています。1人1人の得意なことや関心のあることを生かして、地域を盛り上げる取組に挑戦してほしいと思っています。

日南振徳高校の生徒1人1人が「潔己・至道・振徳」という校訓の意味を理解し、行動によって具現化することで、地域の方々が「日南振徳高校を大事にしよう」と応援していただける学校となることが私の願いです。生徒の皆さん一人一人が母校を大切に作る気持ちで校内外の生活を送ってください。

新しい年を迎えるとともに、いよいよ3学期が始まりました。3学期はまとめの学期になるとともに、次の年度へ向けた準備の期間です。3年生はもちろんのこと、1・2年生も将来の自分のあるべき姿をイメージしながら、これまでの高校生活を振り返り、将来のために、今、何に取り組むべきかを考え、貴重な時間を有効に使ってください。

3学期はあっという間に過ぎてしまいます。1学年の中でも1日1日を特に大事に過ごしてください。以上で終わります。

令和5年1月10日
日南振徳高等学校
校長 山下 勉